



みどりの風

平成24年12月3日発行

校報 第492号

〔みどりの風 第35号〕

練馬区立関町北小学校

3つのCと学校評価

校長 大野 泰弘

学校の南側の関北山付近の樹木も一気に色づき、冬が駆け足で近づいてきているように感じられます。

先日の学習発表会には、早朝より、多数のご来賓、保護者、ご家族の皆様のご来校を賜り、子どもたちの演技や音楽、そして、係活動に温かいご声援を賜りまして、有難うございました。厚く御礼を申し上げます。

皆様からいただいたご感想を拝見しますと、子どもたちの熱演により、心が揺さぶられ、深い感動を味わわれた様子がとても伝わってきました。上演後に子どもたちが見せた涙にも、大きな満足感や達成感があったことが窺えました。

さて、今年も残すところ、12月のみとなりました。本校では、例年、この時期には、保護者の皆様や地域の皆様に、今年度の本校の教育活動についてのご意見やご感想をさまざまな視点からお聞かせいただくことにしています。それは、来年度の学校教育の根幹である「教育課程」を編成するにあたって、皆様のご意見やご要望等を参考にさせていただくためにほかなりません。

私は、今年1月の学校だよりの紙面で、「『心を開き、夢を育てる』ということを中心に、『安全・安心・安定』は全ての基本になりますが、そのうえで、学校の教育活動を『Continue』（継続）、『Connect』（接続）、『Create』（創造）の3つのCの視点から考え、実践していきたい。」と申しました。そこで、今年を締めくくるにあたり、それらもあわせて評価していただく項目として、この場でもう一度、そのことを振り返らせていただきたいと思います。

1 Continue〔継続〕

開校以来50年以上にわたり育まれてきた本校の伝統や校風を含め、これからも残すべき教育実践を確実に『Continue』（継続）していくことによって、子どもたちの心を育て、集団の力をよりよく高め、学校と家庭・地域社会との信頼関係をさらに深めていきたいと考えましたが、如何でしたでしょうか？

2 Connect〔接続〕

子どもたちが友達、教職員、地域やその道の専門家の方々など、さまざまな人との出会いに始まり、その心と心の『Connect』（接続）・結び付きを大切にすることによって、心を落ち着けて、友達や教職員と共に楽しく、価値のある学校生活を過ごせるようにしたいと考えましたが、如何でしたでしょうか？

3 Create〔創造〕

例えば、都言語能力向上推進校では「確かで、豊かな言葉の力」、学校地域合同防災訓練では「社会貢献につながる防災意識」等々、新しい教育的実践を『Create』（創造）することによって、子どもたちに大きな夢や希望を育み、着実に努力していこうとする意欲や態度を育てたいと考えましたが、如何でしたでしょうか？

学校評価は、評価結果が目的ではありません。評価を生かし、子どもたちのために、よりよい学校づくりをすることが目的です。経済界の用語に「Customer Satisfaction」（顧客満足）という言葉があります。学校の教育活動も、子どもたちや保護者、地域の皆様の満足度は見落とせない大切な要素ですが、それ以上に、社会や国の宝として、将来を生きる子どもたちの心がどのように育ち、どのような「生きる力（学力を含め）」が身に付いたのかが問われます。ぜひ、皆様には、本校の教育に対し、忌憚のないご意見、ご感想等をお寄せくださいますよう、お願いいたします。

そして、皆様には、様々な場面で、心強いお力添えを賜りました。あらためて感謝申し上げます。1年のまとめとなるこの時期、子どもたちを引き続き、温かく見守ってくださいますよう、お願い申し上げます。

日本語では「顧客満足」と言うそうです。商品開発でもサービスの提供でも、お客様の満足のために全ての経済活動があることを思えば、当然のことですが、それを数値化して目標の達成度を分析して、さらなる向上につなげるとなると、その数値はとても気になるところです。

今日、学校教育も評価をしていただき、企業でも「お客様相談室」に届いた情報がどれくらいの速さと正確さで関係部署に届くか、そこがよりよい商品なりサービスなりの改善につながっていくという話を聞いたことがあります。学校の組織は企業とは異なりますので、同じようにはまいりませんが、そういう発想は傾聴に値します。

学校と家庭は顧客ではありません。将来を生きる、社会や国の宝である子どもたちを育てているのですから、連携の対象、パートナーシップがそれに近い

授業はサービスではなく、もっと神聖なものでなければいけない

とはいっても、今年度の学校の教育活動にどれくらい満足していただけているか、あるいは学校関係者が気が付いていない点はどこにあるのか、そういったことにご意見やご用簿を伺うことは大事なことであると思っています。

クレームは学校改善の良薬・情報 良薬口に苦し

子どもはやがて学校を卒業します もっと先には親元も離れ、自立します そのときにどんな人に育っているのか、そこが大事です。そのために、今学校はどうあるべきか、保護者の願いは何か、それを共に考え、よりよい学校づくりに力を出し合うことが大事でしょう。

そういう視点で、ぜひ、忌憚のないご意見ご要望をお聞かせください。クレームは誰しもない方がいいですが、そこから逃げているは、改善にはつながりません。みなさんの意見を窺える場は限られていますが、その機会に得られる意見を大事にしていきたいと考えています。足りないことの全てをできるほど、学校に余裕はありませんが、少しでもそれを満たしていけるように努力することはできます。

子どもたちのために、ご一緒によりよい学校にしていまいりましょう。